

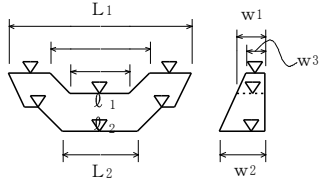
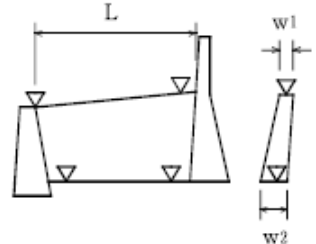
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	3 工 場 製 作 工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部	±3…… $l \leq 10$ ±4…… $l > 10$
						材	
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	8 コ ン ク リ ー ト 堰 堤 工	4		コンクリート堰堤本体工	基 準 高 ∇	●△±30
						天端部 堤 幅 w_1, w_3 w_2	●△-30
						水通しの幅 l_1, l_2	●△±50
						堤 長 L_1, L_2	●△-100
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	8 コ ン ク リ ー ト 堰 堤 工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ∇	●△±30
						幅 w_1, w_2	△-30
						長 さ L	△-100

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
	図面の寸法表示箇所にて測定。	8-1-3-4
	図面の表示箇所にて測定。	8-1-8-4
		8-1-8-4
<ol style="list-style-type: none"> 図面の寸法表示箇所を測定。 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。 		8-1-8-6

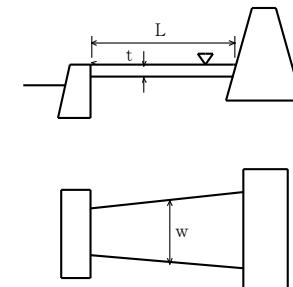
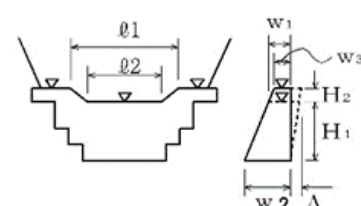
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	8 コ ン ク リ ー ト 堰 堤 工	8		水叩工	基 準 高 ∇	● Δ ±30	
						幅 w	Δ -100	
						厚 さ t	Δ -30	
						延 長 L	Δ -100	
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	9 鋼 製 堰 堤 工	5	1	鋼製堰堤本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ∇	● Δ ±50
							長 さ ℓ_1, ℓ_2	Δ ±100
							幅 w_1, w_3	Δ ±50
							下流側倒れ Δ	Δ ±0.02H ₁
						袖 部	袖 高 ∇	● Δ ±50
							幅 w_2	Δ ±50
							下流側倒れ Δ	Δ ±0.02H ₂

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所 で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		8-1-8-8
1. 図面の表示箇所 で測定。 2. ダブルウォール構造 の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-5

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本體工 (透過型)	堤長 L	$\Delta \pm 50$
						堤長 l	$\Delta \pm 10$
						堤幅 W	$\Delta \pm 30$
						堤幅 w	$\Delta \pm 10$
						高さ H	$\Delta \pm 10$
						高さ h	$\Delta \pm 10$

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		図面の寸法表示箇所にて測定。 8-1-9-5

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本体工 (透過型)		

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		8-1-9-5

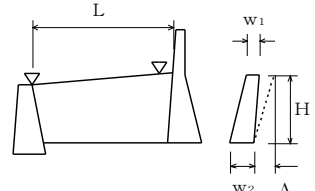
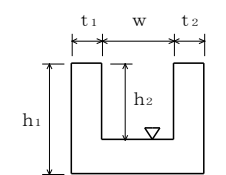
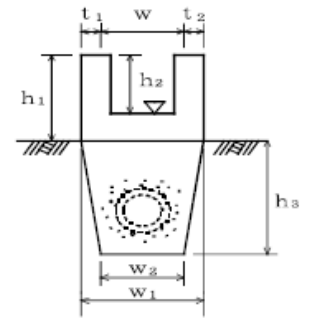
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鉄製堰堤工	6		鋼製側壁工	堤 高 ∇	$\triangle \pm 50$	
						長 さ L	$\triangle \pm 100$	
						幅 w_1, w_2	$\bullet \pm 50$	
						下流側倒れ \triangle	$\triangle \pm 0.02H$	
						高さ h	$h < 3m$	$\triangle - 50$
							$h \geq 3m$	$\triangle - 100$
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	基 準 高 ∇	± 30	
						幅 w	-30	
						高さ h_1, h_2	-30	
						厚 さ t_1, t_2	-20	
						延 長 L	-200	
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基 準 高 ∇	$\bullet \pm 30$	
						厚 さ t_1, t_2	$\triangle - 20$	
						幅 w	$\triangle - 30$	
						幅 w_1, w_2	$\triangle - 50$	
						高さ h_1, h_2	$\triangle - 30$	
						深 さ h_3	$\triangle - 30$	
						延 長 L	$\triangle - 200$	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p> 	<p>8-1-9-6</p>	
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> 	<p>8-2-5-8</p>	
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> 	<p>8-3-6-4</p>	

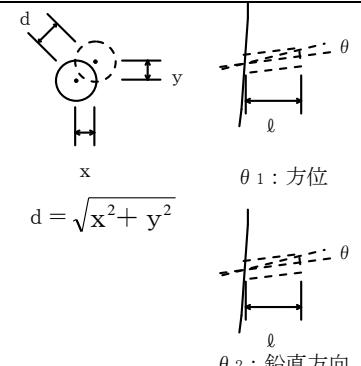
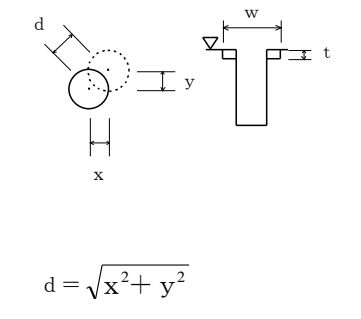
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削 孔 深 さ ℓ	●設計値以上
						配 置 誤 差 d	●100
						せん孔方向 θ_1 (方位)	$\Delta \pm 2.5$ 度
						せん孔方向 θ_2 (鉛直方向)	$\Delta \pm 2.5$ 度
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基 準 高 ∇	● ± 50
						偏 心 量 d	●150
						長 さ L	● -100
						巻 立 て 幅 w	$\Delta -50$
						巻立て厚さ t	$\Delta -30$
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	9 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基 準 高 ∇	● ± 50
						偏 心 量 d	● $D/4$ 以内 かつ 100 以内

●：出来形管理図表を作成する。

Δ ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 <p>$d = \sqrt{x^2 + y^2}$</p> <p>θ_1: 方位 θ_2: 鉛直方向</p>	8-3-7-4 せん孔方向 θ_1 (方位)の直接測定が困難な場合は、監督職員と協議の上、現場でのせん孔方向の設定時の管理によってもよい。
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 <p>$d = \sqrt{x^2 + y^2}$</p>	8-3-7-5
全数測定。		8-3-9-6